

1 はじめに

第23回ビジネス・ライブラリアン講習会は、行動・実践の教えに啓発されながら、アドバイザー、講師、他の受講生の方々に多くのアイディアをいただき、図書館サービスの理想を自由に思い描くことができる、貴重な時間となったⁱ。

本レポートでは、講習会を通じて作成した、都立図書館による中小企業の海外展開支援企画案についてまとめる。以下、企画した背景、実施したい内容、実施にあたっての課題を述べる。

2 企画の背景

2-1 海外展開をめぐる国内状況

日本企業による海外展開の機運は高まっている。国の海外ビジネス支援ⁱⁱをはじめ、東京都においても、国際競争力向上施策の一環として総合計画内に日本企業の海外展開の支援が掲げられているⁱⁱⁱ。また、金融機関、大学、専門機関等による企業支援も全国に広がってきている^{iv}。

ただし、中小企業にとって海外展開事業はハードルが低いものではなく、日本政策金融公庫による調査によると、海外展開を行っている中小企業は18%にとどまる^v。こうした状況の一要因として、情報入手の難しさがあることが、同調査からはうかがえる。海外展開に関心を抱く企業にとっての阻害要因の3位に「海外にどんな需要があるかわからない」、僅差で4位に「海外は商慣習や法規制がわからない」が続いており^{vi}、また海外展開に関心がないとする企業が挙げる理由の4位には「関心をもつに至る情報やきっかけがない」が入っている^{vii}。

2-2 都立図書館の現状

都立図書館はこれまで調査・研究のための図書館を目指してきた。公立図書館としては国内最大規模で資料を所蔵しており^{viii}、年間約5万件のレファレンスを受けている^{ix}。

海外ビジネスに関する需要もある。レファレンスでは、海外展開の手引きとなる概説書を求める質問や、国・地域を指定した実務解説書を求める質問（「マレーシアの法務・税務について知りたい」）、国・地域や業種を指定した海外市場情報を求める質問（「中国における皮革産業の統計を探している」）等が、週1回程度寄せられる。これに対し、所蔵資料や契約データベース、インターネット情報を、外国語文献も含め調査・提供している。

なお、コロナ禍前には海外ビジネスに関連したショートセミナーや資料のミニ展示等を館内で行ったこともあったものの、2020年以降は実績がない。また、都立中央図書館

では駐日各国大使館との連携事業も行ってきた^xが、ビジネス関連の国際化事業は特段実施されていない。

以上を踏まえて本企画では、今ある情報源とレファレンス実績を活かしながら、海外ビジネス関連情報へのアクセスをさらに充実させることで、中小企業の海外展開を支援することを目指す。

3 企画内容

企画の流れは以下の通りである。

- ① 館内外を会場とする展示事業により、海外展開に対する関心を喚起し、調査のための図書館利用のきっかけを提供する。
- ② 講演会を通じ、海外ビジネス情報の調査方法等について知る機会を設ける。
- ③ 企業相談会を開催し、各企業における個別課題解決のための機会を提供する。

3-1-1 展示@図書館

図書館を既に利用しているが海外展開について関心の薄い中小企業を対象とする。都立中央図書館内での実施のほか、認知度向上のため都内区市町村立図書館でも開催する。例えば、スタートアップ企業が集まるエリア^{xi}に近く、ビジネス情報支援に力を入れる^{xii}新宿区立角筈図書館や、大田区立入新井図書館等の図書館と連携し、会場及び関連資料の提供を依頼する。

会場内では、海外展開を具体的にイメージできるよう展示を行う。まず海外展開を実現させた企業の事例紹介パネルを設置する。また、海外展開に至る過程で活用できる、図書館の資料例を置く。区市町村立図書館会場では、主に概説書や実務解説本があるところに、都立図書館の調査資料をあわせて幅をもたせる。加えて、各図書館で利用できる関連データベースや、実際に受けた関連レファレンスの質問及び回答を紹介するパネルを置く。さらに、中小企業の海外展開支援を行っている海外展開に関する専門機関（日本貿易振興機構、中小企業基盤整備機構、東京都中小企業振興公社、日本政策金融公庫、国際協力機構^{xiii}の5機関）を紹介するパネルも展示する。

展示にあたっては、以上の5機関と連携し、事例紹介で取り上げる企業の紹介や、各機関の海外展開支援内容について情報の提供を依頼する。

3-1-2 展示@中小企業総合展

図書館外で行う展示では、海外展開を視野に入れているが図書館をあまり利用しない企業に対しアプローチを試みる。実施にあたっては中小企業基盤整備機構と連携し、会場として中小企業総合展^{xiv}を利用する。中小企業総合展とは、消費財系の大規模専門展示会に同機関が団体出展し、海外展開を目指す中小企業が全国から集まって展示を行うもの

である。また国内外からバイヤーが集まり、中小企業総合展を含む展示会全体で数万～数十万人が来場する^{xv}。商談の合間に訪れる企業に対し、図書館における情報収集の可能性を印象付けることを目指す。

展示内容として、海外市場調査資料や実務解説書を中心とした図書館資料を、総合展参加企業の業種等に配慮して数十点持ち込む。また契約データベースや、レファレンスの質問・回答を紹介するパネルを設置するほか、都立図書館やその他の公立図書館、専門図書館等の利用案内、レファレンス案内等の配布物も用意する。会期中は司書を配置し、企業の質問に対応する。

3-2 講演会

海外展開に関して学びと交流の場を提供するため、講演会を実施する。海外展開を検討し始めた企業や忙しいビジネスパーソンでも気軽に参加できるように、都立中央図書館内に加えオンラインでも開催する。

概説的に情報収集方法等を伝える一般編のほか、個別の数ヵ国についてより特化した情報を提供する個別国編も設ける。個別国は、レファレンスで多く聞かれる東南アジア近辺を念頭に検討する。

内容としては、一般編、個別国編ともに、日本貿易振興機構から講師を招聘し、海外展開関連の情報収集について講演する。それに加えて個別国編では、駐在員等の生活に関する情報収集の場とするため、当該国の在日大使館と連携し、生活の様子や文化・社会的習慣について、当該国を良く知る方によるトークも行う。最後には司書より図書館の活用方法を案内する。会場は、イベント終了後1時間程度、講師、参加者同士、司書が自由に交流し、情報交換できる場として提供する。

3-3 海外展開事業相談会

図書館と専門機関の連携のもと、海外展開を検討する企業からの相談に応じる相談会を実施し、個別課題の解決に導く。検討状況に関わらず参加しやすいよう、会場は専門相談機関より身近な都立中央図書館とする。

図書館内展示でも連携した、日本貿易振興機構、中小企業基盤整備機構、東京都中小企業振興公社、日本政策金融公庫、国際協力機構の5機関に人材支援を依頼し、専門的なアドバイスを提供する。相談には司書も関わり、必要に応じて図書館資料等の提供を行う。

4 課題

先進事例と比較した際、都立図書館における海外ビジネス調査ツールのさらなる整備・拡充が課題として挙げられる。

例えば、パスファインダーについて、2023年度時点では既存の業界別リストにて海外情報の掲載も一部案内している^{xvi}ものの、漏れなく紹介できているわけではなく、また海外展開に絞ったパスファインダーは公開していない。国内では国立国会図書館^{xvii}や鳥取県立図書館^{xviii}等、アメリカでは議会図書館^{xix}や主に大学図書館^{xx}等によるパスファインダー提供事例を参考にして、企業のリテラシー支援のため整備を進めたい。

また、海外ビジネスに特化したデータベースは2023年度都立図書館では契約していない。国内では国立国会図書館が海外企業や市場情報を所収する諸データベースを一般向けに提供している^{xxi}ほか、アメリカではニューヨーク公共図書館^{xxii}、サンフランシスコ公共図書館^{xxiii}、ボストン公共図書館^{xxiv}等、海外ビジネスに役立つデータベースが一般に提供されている印象である。国内で海外データベースを公立図書館が契約するには費用やセキュリティの問題が生じることがあるが、大変有用な調査ツールと思われるため、専門機関と連携する際に助言を仰ぐ等しながら検討を進めたい。

5 さいごに

以上の企画を通じ、首都東京の図書館として、国際的な視野をもつビジネスパーソンの力に少しでもなりたく思う。実施する際には、ビジネスパーソンのニーズ動向や利用実態等をよりよく把握するよう努め、サービスの発展につなげていきたい。

なお、以上では東京から世界に展開していくビジネスを支援する案を企画したが、国際的な経済交流を考えると、海外から東京への投資に関する視点も欠かせない。そのようなビジネス支援をさらなる目標としつつ、できることから行動に移していきたい。

ⁱ 講習会での経験を振り返り、思い出深かった点を挙げると、

・実践してみることが大事というお話を数多くいただいた。鳥取県立図書館の小林講師からは「予算をかけずに明日からできる事業」を考えるという課題が出され、受講生による回答は、書架の工夫から現事業の見直しまでさまざまだった。どんな小さなことでも良いから始めてみようというヒントになった。

・よりよいサービスを実践・拡大していくために各自の経験や知見を分かち合うコミュニティとして講習会が機能しているのを感じた。痒い所に手が届くプログラムで全ての講義・課題に丁寧なフォローがあり、特にワークショップでは、アドバイザー、講師及び他の受講生という全方向の方々から惜しみなく意見をいただいたのを通して、先進事例や、日頃の業務の範囲ではくみ取り切れなかった利用者及びビジネス支援のコンテクストを学ぶことができた。この学びから行動を起こして、サービスを発展させていきたいと思った。

ⁱⁱ 「海外ビジネス投資支援の取組み」(内閣官房)

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kaigai_business/index.html

-
- iii 『『未来の東京』戦略 version up 2024』（東京都政策企画局）デジタルブック p.11
ほか <https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/choki-plan/>
- iv 「日経テレコン」所収記事「海外展開検討の中小にセミナー 日本公庫と群馬銀」（2024/2/21）、「道銀と JICA、企業海外進出支援」（2024/2/23）、「奈良先端大とジェトロ、新興の海外展開支援などで連携」（2024/3/11）ほか
- v 「景況に関する調査結果 特別調査 中小企業の海外展開と国内回帰に関する調査結果（2023年6月1日発表）」（日本政策金融公庫）>「海外展開を行っている中小企業は18.0%、国内回帰は2020年以降の増加が目立つ」p.1
https://www.jfc.go.jp/n/findings/tyousa_sihanki.html
- vi 同上、p.8
- vii 同上、p.10
- viii 「事業概要」（東京都立図書館）令和5（2023）年度版 pp.11-12
https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/guide/about_us/report/
及び『図書館年鑑』2023 日本図書館協会 2023.7 p.278 ほか
- ix 令和4（2022）年度のレファレンス件数は51,197件（「事業概要」（同上）p.14）
- x 「イベント一覧」（東京都立図書館）
<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/guide/event/>
- xi 東京都立中央図書館に近い六本木のほか渋谷・五反田が挙げられる。
『日本経済新聞』2024.1.24 地方経済面東京5面「五反田再開発、進行を誘致」
- xii 「都内公立図書館インターネット等サービス状況」（東京都立図書館）>「ビジネス情報サービスを実施している図書館」
https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/lib_info_tokyo/public/internet/index.html
- xiii それぞれの支援事業については以下を参照。
日本貿易振興機構 (<https://www.jetro.go.jp/>)
中小企業基盤整備機構 (<https://www.smrj.go.jp/sme/overseas/index.html>)
東京都中小企業振興公社 (<https://www.tokyo-kosha.or.jp/TTC/>)
日本政策金融公庫 (https://www.jfc.go.jp/n/finance/keiei/kaigai_s.html)
国際協力機構
(https://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/activities/sme/index.html)
- xiv 「展示会への出展支援」（中小企業基盤整備機構）
<https://www.smrj.go.jp/sme/market/exhibition/index.html>
- xv 2023年度総来場者実績は、雑貨等を扱う「LIFE×DESIGN」では約22万人
(<https://giftshow.smrj.go.jp/entry.html>)
食品・飲料を扱う「FOODEX JAPAN」では約7万人
(<https://foodex.smrj.go.jp/entry.html>)
- xvi 「企業・業界情報リスト」（東京都立図書館）
https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/search/research_guide/business/

-
- xvii 「リサーチ・ナビ」(国立国会図書館) >
「海外の業界動向」 <https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/industry/trendsforeign>
「海外の会社情報の調べ方」 https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/business/post_102126
「海外に関する統計」 https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/business/post_841
- xviii 「ビジネス支援ガイド 海外の動向・地域の情報について調べるには？」(鳥取県立図書館) <https://www.library.pref.tottori.jp/business/cat1/post-7.html>
- xix 「International Business: Sources of Information」(Library of Congress)
<https://guides.loc.gov/international-business/>
- xx <international business><research guides>等でインターネット検索すると多数ヒットする。
- xxi 「リサーチ・ナビ」(国立国会図書館) > 「経済・社会・教育分野の館内提供契約データベース」 > 「7. 海外の企業情報」及び「8. 海外の市場動向」
https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/business/post_507
- xxii 「Business」(New York Public Library) > 「Databases」
<https://libguides.nypl.org/Business>
- xxiii 「Articles & Databases」(San Francisco Public Library) > 「Topic : Business & Finance」
<https://sfpl.org/articles-databases>
- xxiv 「Online Resources By Subject: Business」(Boston Public Library)
<https://www.bpl.org/resources/business/>

インターネット・データベース情報の最終アクセス日はすべて2024年3月15日。